Form No. 3417-895 Rev A

高刈りキット

Reelmaster® 3000 および 5000 シリーズの DPA カッティングユニット用

モデル番号137-0890

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	–	キットを取り付ける準備を行います。
必要なパーツはありません。	–	刈高ブラケットを外します。
ボルト5/16 x 1⅛" 鋸歯付きフランジナット5/16" 高刈りブラケット左側 高刈りブラケット右側 高刈りねじ⅜ x 2¾" ワッシャ5/16" フランジロックナット5/16"	2 2 1 1 2 4 2	高刈りブラケットを取り付けます。
ロックナット⅜"	2	前ローラを取り付ける
キャリッジボルト5/16 x 4" シム 0.25" フランジロックナット5/16"	4 8 4	後ローラ用のシムを取りつけます。
必要なパーツはありません。	–	高刈りブラケットの取り付けを終了します。

キット取り付けの準備

カッティングユニット搭載マシン

1. 平らな場所に駐車し、カッティングユニットを降下させる。
2. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させ、キーを抜き取る。
3. カッティングユニットを取り外すカッティングユニットの *オペレーターズマニュアル*を参照。

刈高ブラケットを外す

1. 刈高ねじ2本についているフランジロックナットをゆるめる図 1。

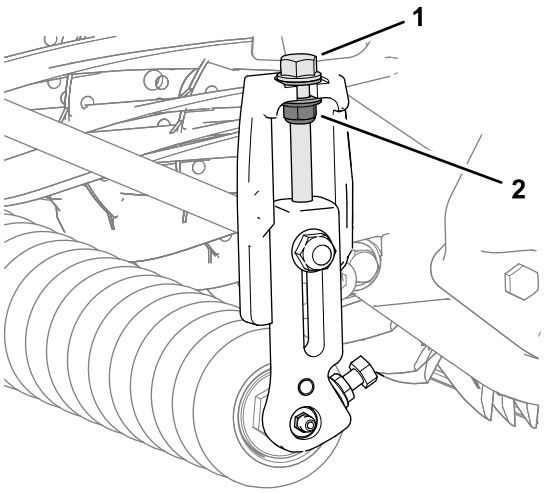
© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA.
禁無断転載

3417-895 A

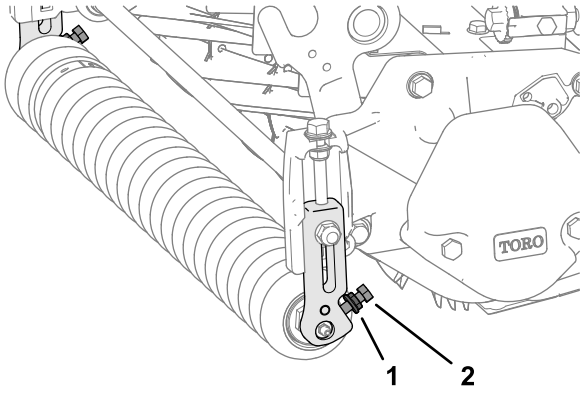


g235009

図 1

1. 刈高ねじ
2. フランジロックナット

2. 前ローラシャフトを左右の刈高ブラケットのローラサポートの端部に固定している鋸歯付きフランジナット2個とボルト2本を外す 図 2。



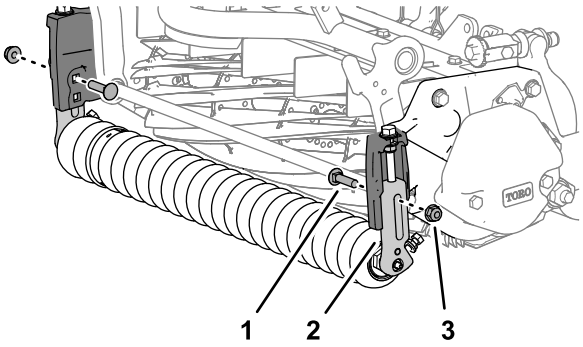
g234979

図 2

1. 鋸歯付きフランジナット
2. ボルト

3. カッティングユニットの片側で、刈高ブラケットをカッティングユニットのサイドプレートに固定しているキャリッジボルトとフランジロックナットを外す 図 3。

   注 キャリッジボルトは 前ローラを取り付ける (ページ 3)で使用します。

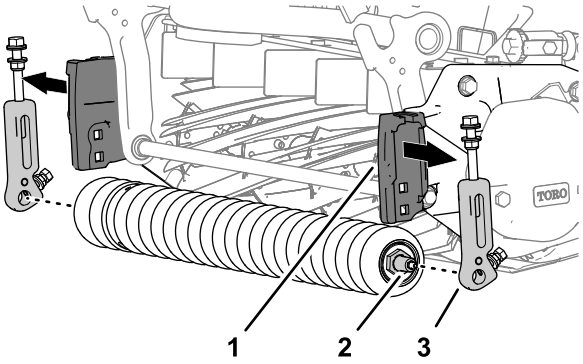


g234981

図 3

1. キャリッジボルト
2. 刈高ブラケット
3. フランジロックナット

4. カッティングユニットから刈高ブラケットと前ローラを取り外す 図 4。



g234982

図 4

1. 刈高サポートサイドプレート
2. 前ローラシャフト
3. 刈高ブラケット

5. カッティングユニットの反対側でもステップ 3の作業を行ってブラケットを外す 図 3。

高刈りブラケットを取り付ける

1. 刈高ねじ⅜ x 2¾"2本、ワッシャ5/16"4枚、フランジロックナット⅜"2個を取り付ける図 5を参照。

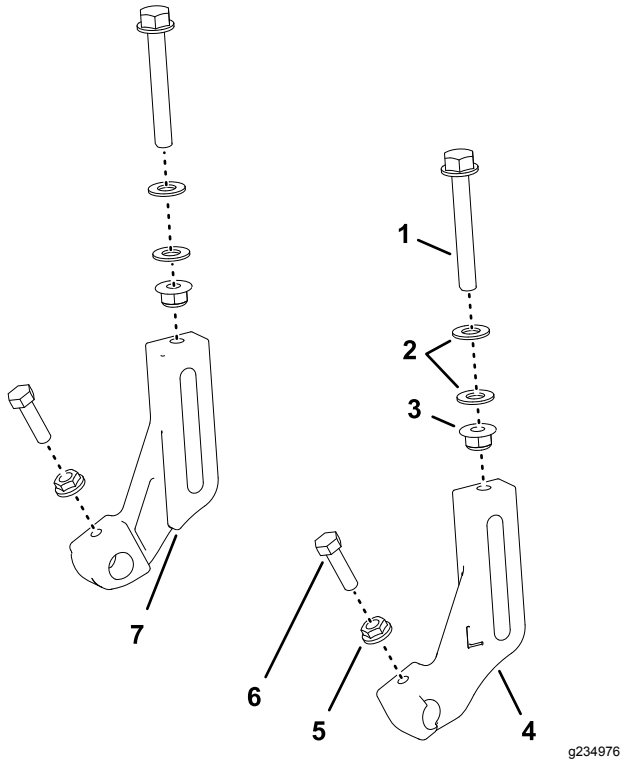


図 5

1. 高刈りねじ⅜ x 2¾"
2. ワッシャ5/16"
3. フランジロックナット5/16"
4. 刈高ブラケット左側
5. 鋸歯付きフランジナット5/16"
6. ボルト5/16 x 1⅛"
7. 刈高ブラケット右側

注 ナットをねじに締めこんで、ワッシャ間の距離を 8 mm にする図 6。

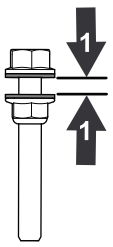


図 6

1. 8 mm

2. 左右の高刈りブラケットに刈高ねじを仮止付けする図 5。
3. 高刈りブラケットの各ローラサポートに、ボルト5/16 x ⅛"と鋸歯付きフランジナット5/16"を仮止めする図 5。

   注 ナットの歯をローラサポートに合わせる。

前ローラを取り付ける

注 高刈りブラケットについている L は左を意味し、R は右を意味します。

1. サイドプレートの刈高サポートについている下側の四角穴を利用して、高刈りブラケットをサイドプレートに仮止めする図 7ステップ3 刈高ブラケットを外す (ページ 1)で取り外したロックナット⅜"とキャリッジボルトを使用する。

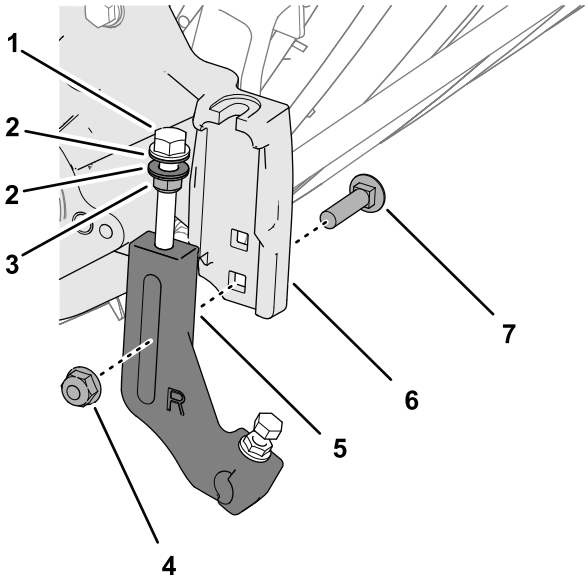
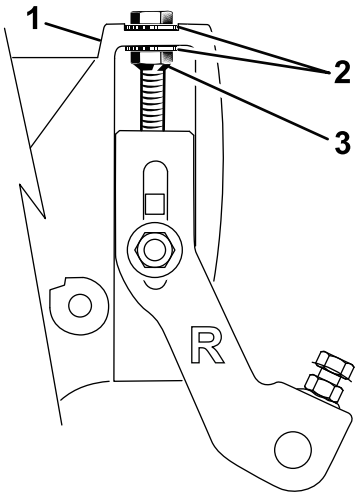


図 7

1. 刈高ねじ
2. ワッシャ
3. フランジロックナット
4. フランジロックナット⅜"
5. 刈高ブラケット
6. 刈高サポートサイドプレート
7. キャリッジボルト

注 刈高調整ねじのワッシャを、サイドプレートの刈高サポートのフランジの両側に配置してください図 8。

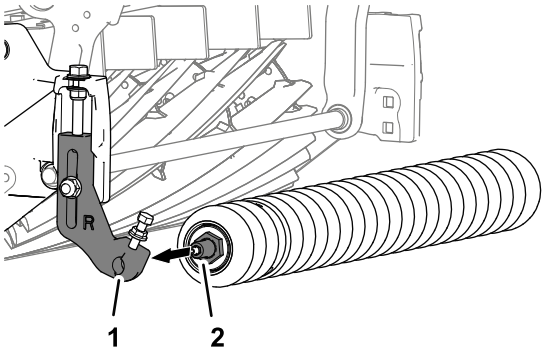


g235085

図 8

1. 刈高ねじ
2. ワッシャ
3. フランジロックナット

2. 前ローラシャフトを刈高アームのローラサポートに取り付ける図 9。

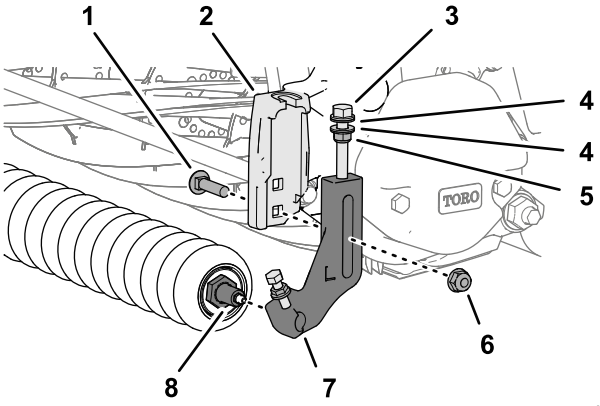


g235008

図 9

1. ローラサポート高刈りブラケット
2. 前ローラシャフト

3. 他方の刈高ブラケットを、前ローラシャフトに取り付け、図 10に示すようにサイドプレートの刈高サポートに合わせる。

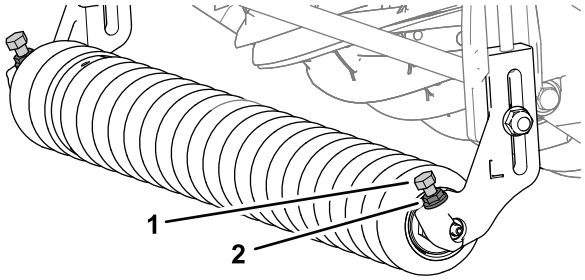


g234977

図 10

1. キャリッジボルト
2. 刈高サポートサイドプレート
3. 刈高ねじ
4. ワッシャ
5. フランジロックナット
6. フランジロックナット⅜"
7. 刈高ブラケット
8. 前ローラシャフト

4. 刈高ブラケットをサポートに取り付けるキャリッジボルト図 10ステップ3 刈高ブラケットを外す (ページ 1)で外したものと、ロックナット⅜"を使用する。
5. ワッシャがサイドプレートのフランジに接触するまで刈高調整ねじのロックナットを締め付け、そこから、ナットを ½ 回転だけ戻す図 10。
6. ローラが左右の刈高ブラケットの中央に来るように位置を調整し、ボルトを締め付け、刈高ブラケットのローラサポートについている鋸歯付きフランジナットを締める図 11。



g234984

図 11

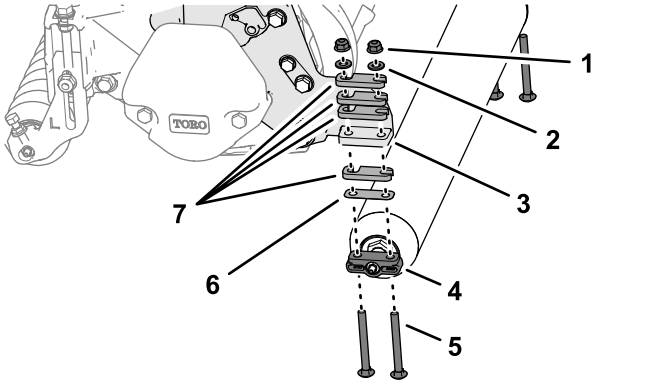
1. ボルト
2. 鋸歯付きフランジナット

7. カッティングユニットの*オペレーターズマニュアル*に従って、刈高の調整を行う。

後ローラ用シムを取りつける

1. 後ローラとシムをサイドプレートのフランジに固定しているフランジロックナット4個、ワッシャ4枚、キャリッジボルト4 本を取り外す図 12。

   注 外したワッシャとシムはステップ 6で使用します。



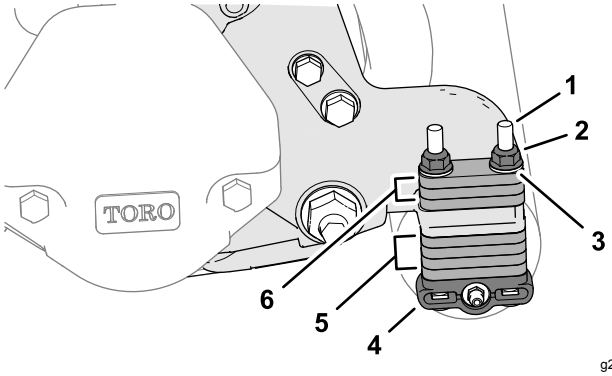
g234983

図 12

1. フランジロックナット
2. ワッシャ
3. フランジサイドプレート
4. 後ローラブラケット
5. キャリッジボルト5/16 x 3"
6. シム 0.010"
7. シム 0.25"

2. カッティングユニットの*オペレーターズマニュアル* に従って、刈り込みの強さオフセットの強さを決める。
3. ステップ 2 で決定した数のスペーサを、1 つの後ローラブラケット図 13に取り付けるキャリッジボルト5/16 x 4"4本を使用する。

   注 キットに入っているスペーサ、キャリッジボルト、ナット図 13と使用して、刈高を 25 mm よりも高く調整してください。



g234980

図 13

1. キャリッジボルト5/16 x 4"
2. フランジロックナット5/16"
3. ワッシャ
4. 後ローラブラケット
5. スペーサ格納位置
6. スペーサ刈高調整位置

   注 刈高をさらに高くしたい場合には、カッティングユニットの*オペレーターズマニュアル*に記載されているスペーサP/N 119-0626と長さ 4-1/2" のキャリッジボルトP/N 3230–30をお求めください。

4. 左右のサイドプレートのフランジに、スペーサ、後ローラブラケット、キャリッジボルトを取り付ける図 13。
5. 余っているスペーサをキャリッジボルト図 13のサイドプレートのフランジの上側格納位置に格納する。
6. ワッシャ4枚ステップ1で外したものと、フランジロックナット4個を使って後ローラとシムをカッティングユニットに固定する図 13。

高刈りブラケットの取り付けを終了する

カッティングユニット搭載マシン

カッティングユニットをマシンに取り付けるカッティングユニットの *オペレーターズマニュアル*を参照。

メモ

メモ



Count on it.